



創造

第7号

7月1日発行

文責：吉海

今から十数年前、「にわとり(コケッコ)症候群」という何とも奇妙な言葉を耳にしました。「にわとり(コケッコ)症候群」とは、○孤食(一人で食事をとる)
○欠食(食事をとらない) ○個食(家族がそれぞれ違うものを食べる)
○固食(いつも決まったものばかり食べる)といった偏食傾向や朝食欠食の増大など、子どもたちの食生活の乱れが深刻化してきたことを表現した衝撃的な言葉でした。これらの異変を受けて、食育基本法(H17.6.10)が制定され、あらゆる分野で食育の必要性が叫ばれるようになりました。6月を「食育月間」としたのもこの頃からです。

本校では、熊本県教育委員会の指定を受け、今年度から2年間にわたり、「学校給食・食育研究推進校」として研究に取り組むことになりました。その内容は、学校教育活動全体を通して、①食事の重要性 ②心身の健康 ③食品を選択する能力 ④感謝の心 ⑤社会性 ⑥食文化 という観点から指導の充実を図り、望ましい食習慣を形成していくというものです。これらは、学校教育だけで培われるものではなく、学校と家庭及び地域社会との連携なくしては成果を上げることにはできません。今後、PTAの各専門委員会や地域の諸団体等にもご協力いただきながら、本事業を推進していきたいと考えています。



食育は生きるうえでの基本であり、知育・徳育・体育の基礎となり、学力の基盤となるものです。「医食同源」と言いますが、病気になって薬で治す前に、毎日の食事や運動で気力・体力を養うことが大切だと思います。「睡眠時間の確保」と「朝食摂取」の推進を引き続きよろしくお願いします。

児童会テーマ決定



佐敷小をリードする各委員長

令和2年度児童会テーマ

みんなで気づき行動！

あいさつ 笑顔が広がる佐敷小

佐敷小のみんなが、学校のため友達のためになることに気づき進んで行動していくことで、太陽のように輝くあいさつや笑顔が広がっていく……
そんな学校をつくっていききたいという思いが込められています。

(企画委員長 6年 高藤あゆみさん)



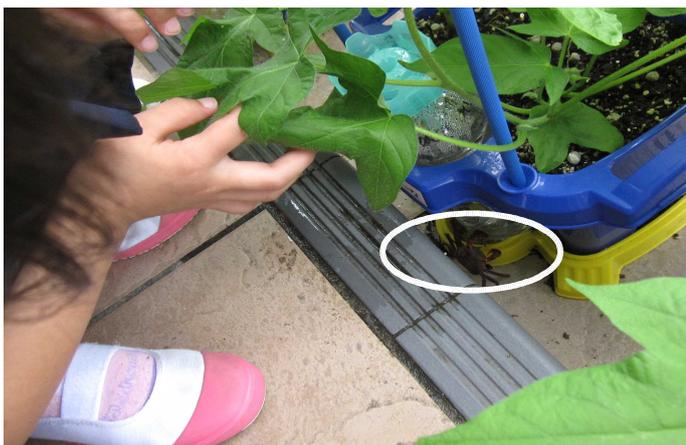
地域の人から学ぶ ②



毎月2回、「青い鳥」の皆様(代表 森下弘子様 他19名)が、忙しい時間帯にもかかわらず、子どもたちに本の読み聞かせをしてくださっています。本の持ち方から読むときの表情に至るまで、いつもきめ細かな工夫が見られ、子どもたちも毎回楽しみにしています。特に、選書にあたっては、子どもたちの発達段階や学校行事等に合わせた内容の本を紹介していただいています。子どもたちは、本の世界に引き込まれながら、やすらぎを感じつつ、心に栄養をたっぷり蓄えることができているようです。



学校ウォッチング



雨上がりのある朝、子どもたちは登校してすぐにアサガオの生長を見に外に出て行きました。すると、「カニが笑ってる！」という子どもたちの声が聞こえてきました。

そんなことはないだろうと見に行ってみると、アサガオの植木鉢の下に子どもたちが集まっていました。よく見ると、本当にカニが笑っていました。(カニの写真は佐敷小のHPにアップしてあります。)

いや、私には、子どもたちの言うとおおり、笑っているように見えました。

カニのおかげで、1年1組の教室は、笑顔いっぱいになりました。

(1年1組担任 前田先生より)

